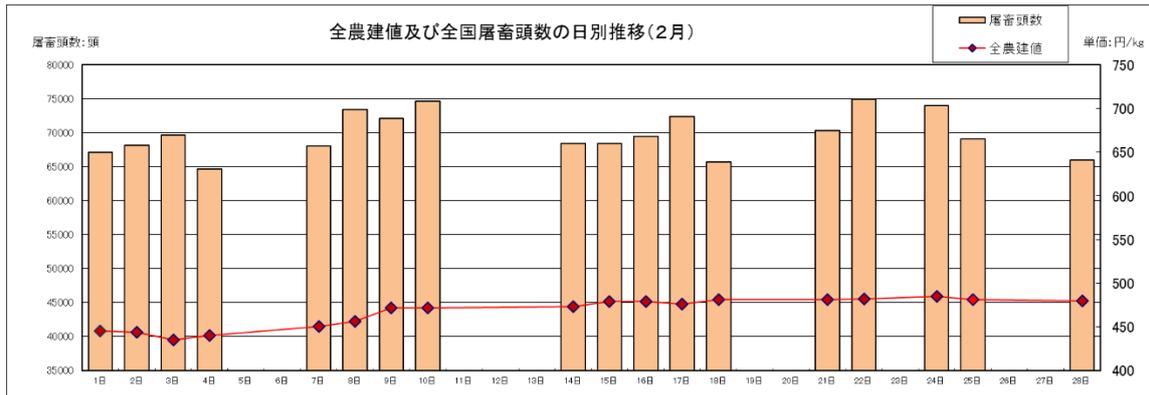


肉豚インフォメーション（2月）

【全農建値】

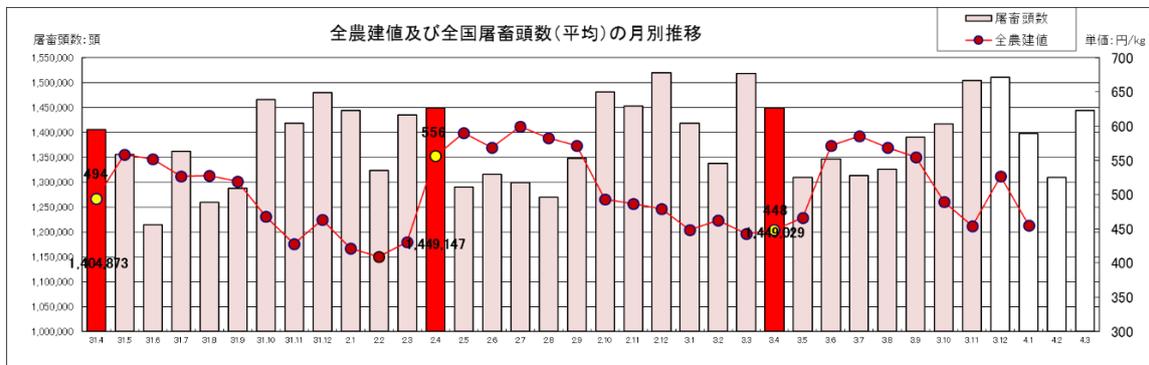
2022年2月（税抜）	2021年2月（税抜）
467円/kg（5円高）	462円/kg

2月は需要が低迷する時期となるが、まん延防止等重点措置が実施される中、肉食需要の高まりや輸入物の不安定さも重なり底堅い展開となった。



3月以降の動向

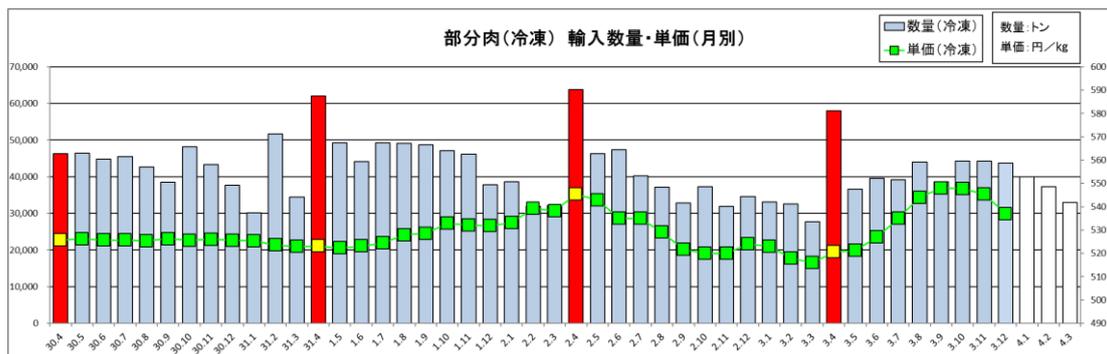
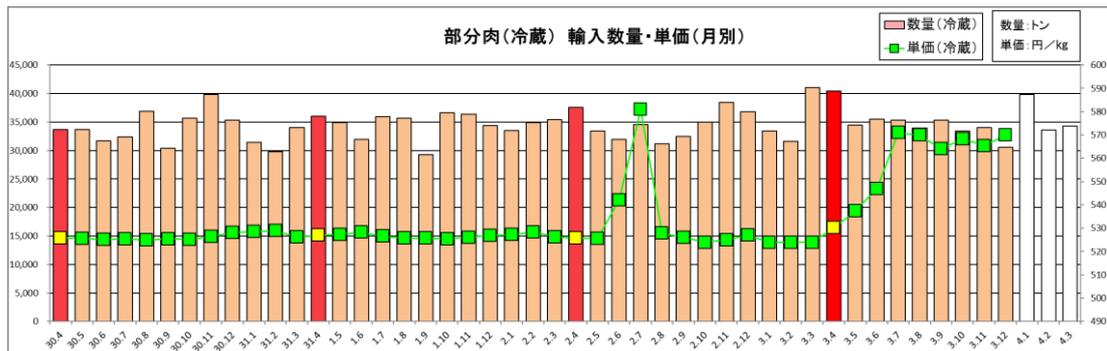
3月の出荷頭数は、前年同月をやや下回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、2月は前年の輸入量が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による北米からの入船遅れにより少なかったことから、前年同月をかなりの程度上回ると予測する。3月は、前年の輸入量が北米からの入船遅れの影響から多かったことに加え、北米の国内需要の増加による現地価格の高騰から、前年同月を大幅に下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに上回ると予測する。

冷凍品輸入量は、中国の買い付けが弱まったことにより相場が下がった欧州産の輸入量が増えていることから、2月はかなり大きく、3月は大幅に、いずれも輸入量が低水準であった前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期を大幅に上回ると予測する。

（ALIC 豚肉の需給予測について 2月24日）



世界的に物価上昇が進む中、国内企業もコスト削減による企業努力だけではカバーできなくなっており生鮮食品を除く食料品の値上げが相次いでいる。

またロシアのウクライナ侵攻により穀物相場にも影響が出ており、ロシアとウクライナで世界全体の約 30%を占める小麦相場が乱高下している。さらに、トウモロコシ相場への影響も予想されるため、今後の動きを注視していく必要がある。

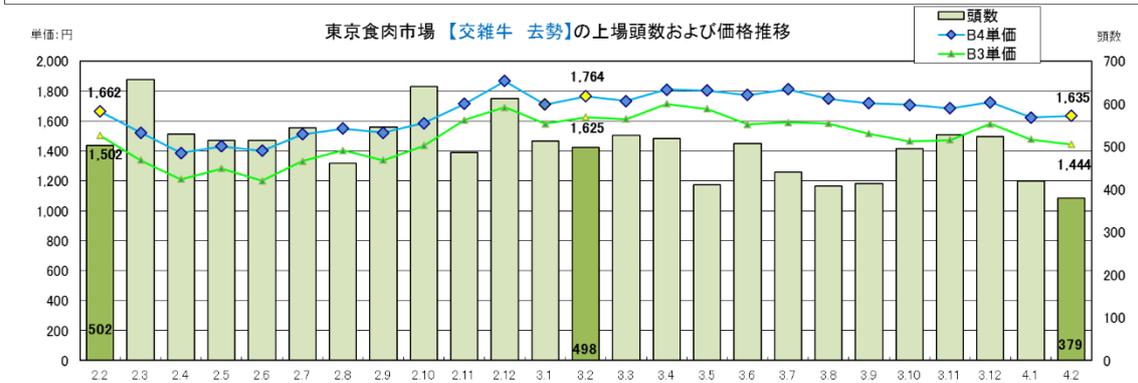
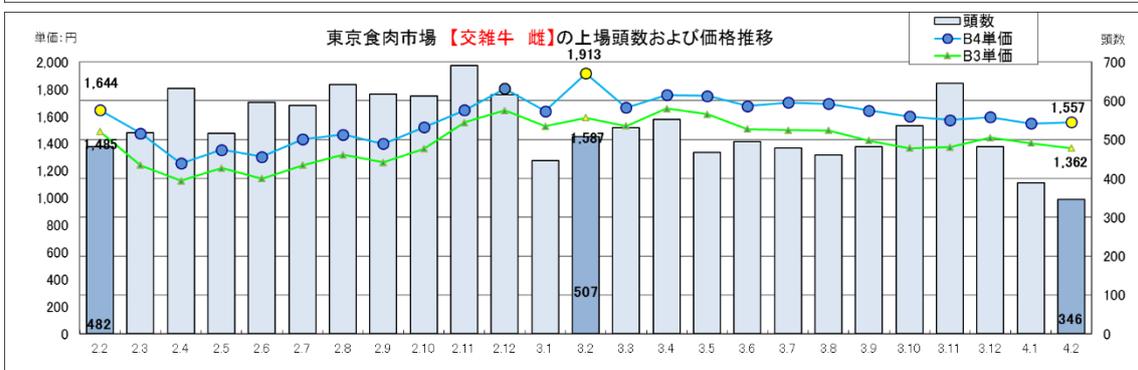
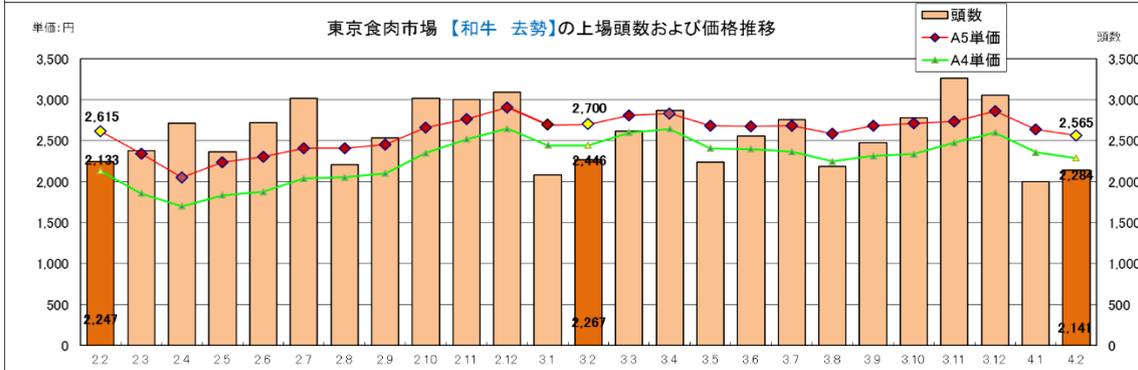
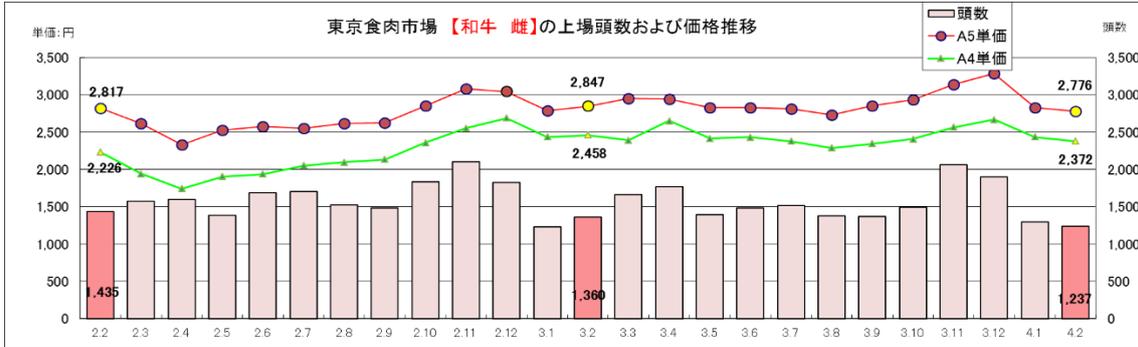
3月の相場は底堅く推移する見通し。

全農建値(税抜) 予測レンジは 450 円～500 円とする。

肉牛インフォメーション（2月）

● 2月の動向

まん延防止適用が決まってから、和牛、交雑牛ともに相場は徐々に値を下げる展開となった。和牛雌の上物はそこまで変わらないものの、同じ等級内でも枝肉のつくりや銘柄で価格差は大きく開いた。



● 3月の動向予測

東京の上場頭数は7,100頭程度を予定しており、例年よりも400頭ほど少ないことや、政府補助事業も継続していることから大きな下げはないと見込む。中旬の連休以降からは、GW向け手当てが徐々に動き出すため、相場はいくらか持ち直すと予想。

3月相場は「強もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,700円（税込み） A4等級 2,450円（税込み）

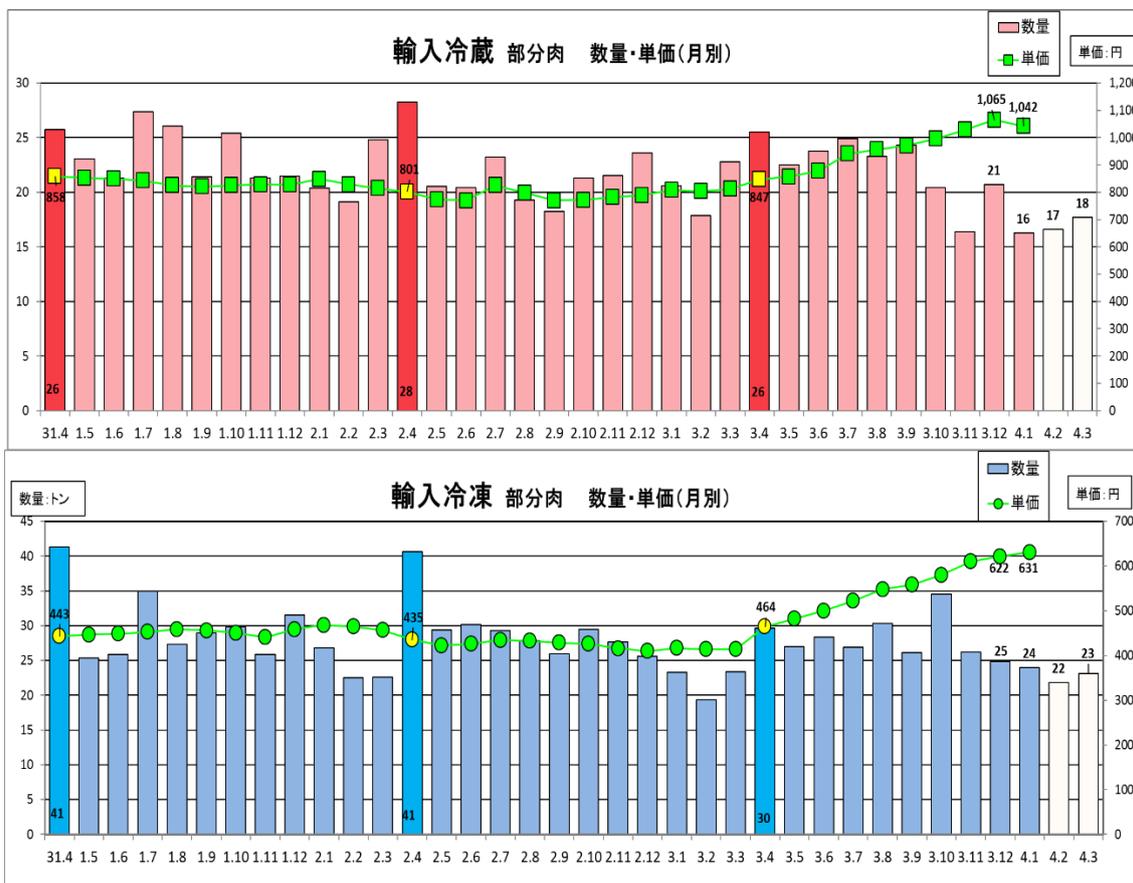
交雑去勢 B4等級 1,700円（税込み） B3等級 1,550円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、豪州及び米国における現地価格の高止まり等により、2月はかなりの程度、3月は大幅に、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、2月は、入船遅れにより前年同月の輸入量が少なかったことに加え、米国産の輸入量が現地価格の高止まりにより減少する一方で他国産の輸入量が増加することから、前年同月をかなり大きく上回ると予測する。3月は、引き続き米国産の輸入量が現地価格の高止まりにより減少することから、前年同月をわずかに下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや上回ると予測する。

(A L I C牛肉の需給予測について2月24日)



●消費動向

まん延防止適用により外食の回復はしばらくかかると見込む。外食が動き出せばバラなど中心に引き合いが出てくるだろう。また、巣ごもり需要は維持しているが、モモスライスや小間切れなど低価格中心の動きとなっている。

●全農茨城県本部家畜市場動向

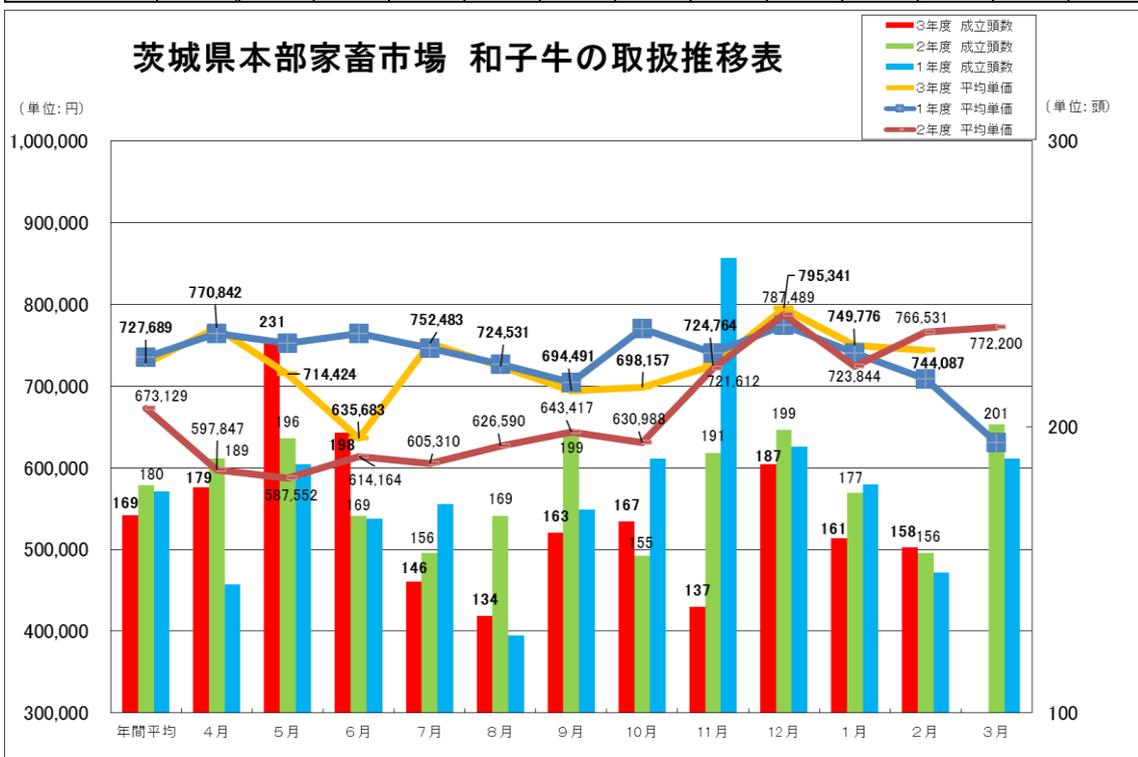
素牛平均価格（2月税込）は、黒毛和種の雌は680,900円で前月比+30,989円、去勢は781,744円で前月比▲33,923円となった。上場頭数（成立）は158頭で前月比▲3頭。

次回上場頭数は160頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

（税込）

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年度 平均単価	735,223	764,223	752,015	764,621	746,382	726,806	704,141	769,994	740,279	774,343	740,581	708,666	630,626
去勢	791,182	804,333	799,867	842,908	797,996	801,132	732,566	818,370	797,145	846,297	814,402	757,106	682,060
雌	659,697	707,400	675,585	684,447	680,659	631,348	657,786	702,635	661,359	682,919	639,563	633,657	559,009
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	727,689	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764	795,341	749,776	744,087	
去勢	783,718	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029	844,433	815,667	781,744	
雌	646,347	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598	728,228	649,911	680,900	
1年度 成立頭数	178	145	187	168	173	127	171	189	259	193	180	149	189
2年度 成立頭数	180	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	169	179	231	198	146	134	163	167	137	187	161	158	



食肉インフォメーション（2月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査1月度結果報告によると、全体売上は対前年比で112.2%と数字では回復したように見えるが、これは前年同期が2回目の緊急事態宣言で売上が大きく落ち込んだ時期のため。実際には年末年始の回復傾向から一転、オミクロン株の感染急拡大でまん延防止等重点措置が各地で適用されたことで店内飲食が中心のレストラン・居酒屋業態が失速し、全体売上の2019年比は88.5%となった。

量販店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の1月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,171億円(前年同月比97.3%、既存店ベース95.8%)と前年割れとなった。年始は和牛や大型パック商品が好調だったが中旬で落ち着きを見せた。牛肉、特に輸入牛で価格高騰が続いて伸び悩んだ一方、比較的安定した価格だった国産豚肉・鶏肉は好調気味に推移した。

元より2月は食肉の需要低迷期であるが、そこにまん延防止等重点措置や原油価格高騰などによる値上げラッシュが加わって消費者の購買意欲は低下気味であり、外食・小売ともに価格面でどこまで末端需要に対応できるかが勝負どころとなる。

○牛肉

年末年始は和牛を中心に概ね堅調に動いたが、1月中旬以降は年始の補充買いや出費増の反動、オミクロン株感染拡大により荷動きは大きく鈍化した。スソ物やスネなどの切落とし、バラなどの焼材関係は動きをみせたが、スライス用の肩ロースは伸び悩み、外食・ホテル向けのヒレ・ロースも大きく落ち込んだ。またホルス→交雑種→和牛と、高価格帯の畜種に行くほど不振の度合いが強い傾向が見られた。

○豚肉

1月は、国産では冬の厳しい寒さから鍋需要が堅調で、冷蔵品でバラ・肩ロースが好調だったがロース・モモは年始以降失速し低調だった。冷凍品はバラを中心に堅調な動きとなった。輸入物では、冷蔵品は相場高に加えて供給の不安定さからバラ以外の部位で目立った動きがなく、冷凍品も緩やかな回復を見せていた外食需要の失速に伴い荷動きが鈍化した。

○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和3年12月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年1月	10,826	9,357	12,661	31,475	11,761	9,897	5,132	91,109
令和4年1月	9,906	11,059	7,504	31,211	12,461	11,073	4,719	87,933
増減	-920	1,702	-5,157	-264	700	1,176	-413	-3,176
対比	92%	118%	59%	99%	106%	112%	92%	97%